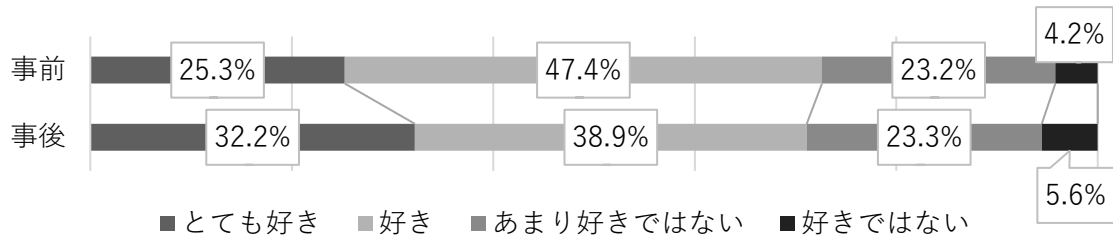


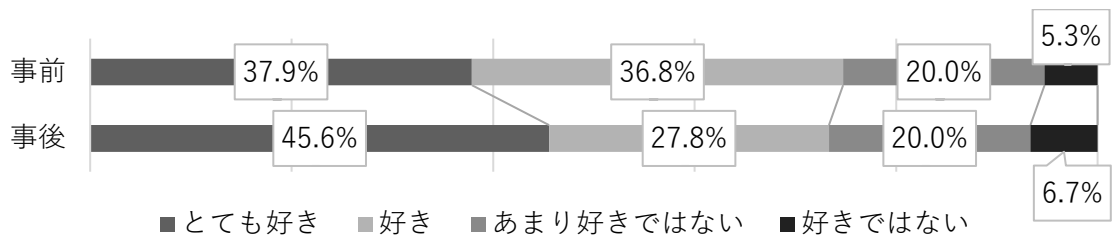
研究の成果と課題

全分科会 アンケート結果

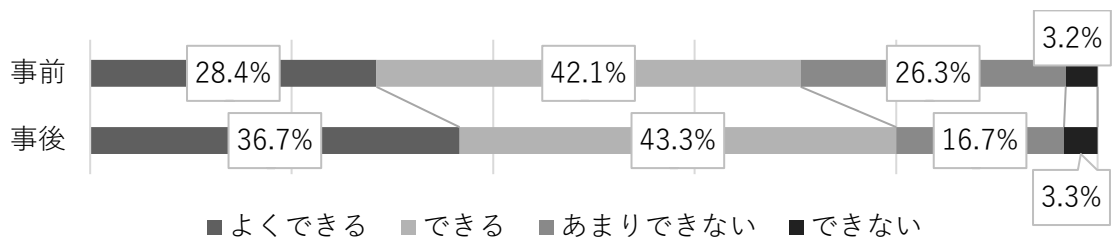
①国語の学習は好きですか。



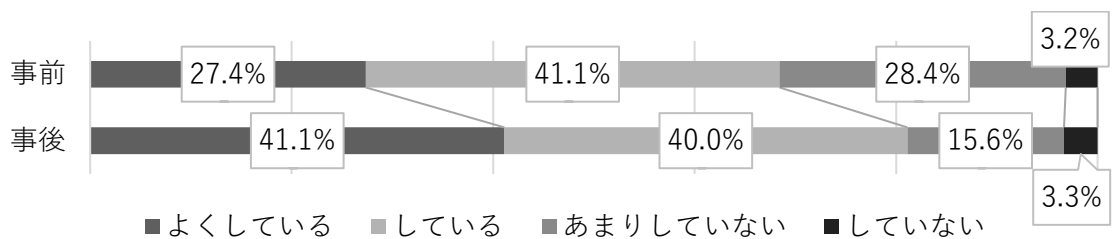
②物語文の学習は好きですか。



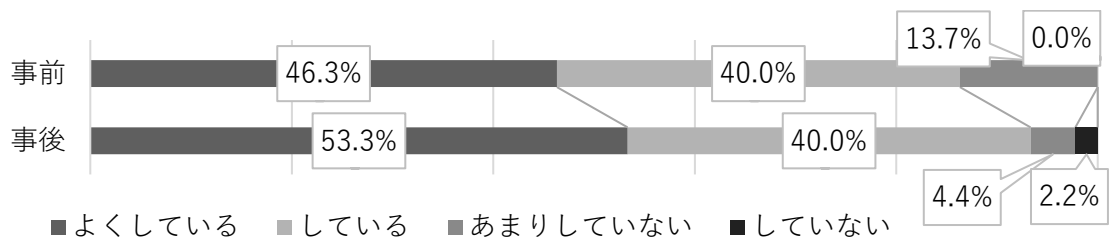
③文章を読んで、自分の考えをもつことができますか。



④自分の思いや考えを分かるように、すすんで相手に伝えようとしていますか。



⑤相手の思いや考えを分かるように、すすんで話を聞こうとしていますか。



本年度の成果と今後の課題

本校では、本年度研究主題である「主体的に学び、自分の思いをすすんで表現できる子供の育成」に、国語科における、自分の考えをもち、感じたことや考えたことを共有する授業の工夫を通して取り組んできた。研究を通して次のような成果と課題が得られた。

1 研究の成果

- ・アンケート①②の結果から、国語の学習が「とても好き」と回答した児童が6.9%増加し、物語文の学習が「とても好き」と回答した児童が7.7%増加したことが分かる。各分科会で講じた手だてによって、児童は主体的に学習に取り組む態度が育まれたといえる。
- ・アンケート④の結果から、「自分の思いや考えを、すすんで相手に伝える」という項目で肯定的な意見が12.6%増加したことが分かる。話型などの支援の方法が用意されており、伝え合う場や、何を伝え、共有するのかが明確になったからだと考えられる。
- ・アンケート⑤の結果から、「相手の思いや考えを、すすんで聞く」という項目で肯定的な回答をした児童が93.3%いることが分かる。話し手だけでなく、聞き手も育ってきており、友達の意見を共有するための学び方が分かってきたといえる。

2 今後の課題

- ・アンケート①の結果から、「国語の学習は好きですか。」という質問に否定的な回答をした児童が1.5%増加した。元々国語の学習を苦手と感じていた児童の自己評価が下がったためと考えられる。支援の方法を見直したり、伝え合う学習に慣れるまで繰り返し取り組ませたりすることで、自信をもてるようにしたい。
- ・アンケート②の結果から、「物語文の学習は好きですか。」という質問に否定的な回答をした児童が1.4%増加した。物語文の題材によっては、子どもの経験や体験から離れたものであったので、考えをもつことが難しかったのではないかと考えられる。広く何でもよいとするのではなく、ねらいに合わせ、何を話題にして考えを伝え合わせるのかを精選しておくよかった。
- ・どの分科会でも、伝える側の手だては多く準備されていたが、聞く側の手だてももっとあるとよかった。低学年は、まず友達の考えを聞くことを大切にしたい。中学年は、自分の考えと比べて、友達とは感じ方に違いがあることに気付かせたい。高学年は、意見や感想を共有し、自分の考えを広げられるよう指導していきたい。